

野草観察

仲間の花 勢揃いー9

オトギリソウ科の花4種 (No.120~123)、カタバミ科の花8種 (No.124~131)、及びガマ科の花3種 (No.132~134) を紹介します。

花期や花径など、基本データの記載は割愛しました。

コゴメバオトギリ



シナノオトギリ



(2011年8月10日、北八ヶ岳)

ビヨウヤナギ



キンシバイ



ビヨウヤナギとキンシバイの花は、いずれも黄金色でよく似ていますが、ビヨウヤナギは多数の雄しべが突き出すのが特徴です。出会いの当初は両花名の区別がつかず、「雄しべビヨーンがビヨウヤナギ」と覚えたものです。

カタバミ

アカカタバミ



オッタチカタバミ

オオキバナカタバミ



オッタチカタバミはカタバミ(No.124)によく似ていますが、カタバミは茎が地表を這って広がるのに対し、オッタチカタバミは茎が立ち上がって枝を密に出すのが特徴です。オオキバナカタバミは葉の表面に紫褐色の小さな斑点がついています。この特徴によって花のない時期でも他のカタバミの仲間とは容易に識別できます。

イモカタバミ

ベニカタバミ



イモカタバミとベニカタバミは、花色や花びらの形等などがよく似ていますが、花びらの下部にあるがく片の色で見分けることが出来ます。イモカタバミのがく片は黄緑色をしています、ベニカタバミのがく片は花びらと同じ紅紫色をしています。

ムラサキカタバミ

ハナカタバミ



ガマ

コガマ

ヒメガマ



写真を並べに見ると、それぞれの違いが分かるような気になりますが、現物個々に接すると見分けに戸惑います。

上部に雄花群、下部に雌花群が付いているのは共通ですが、雄花群と雌花群のつき方及び雌花群の大きさによって区別しています。

ガマ：雄花群と雌花群は接しています。雌花群は長さ 7.5～20 cm、直径 2～3 cm です。

コガマ：雄花群と雌花群は接しています。雌花群は長さ 4.5～15 cm、直径 1～2 cm です。

ヒメガマ：雄花群と雌花群は離れています。雌花群は長さ 8～22 cm、直径 1～2 cm です。